

オイル阻集器「SHASE-S 221-2012」正誤表

箇所	誤	正
表紙裏 オイル阻集器規格作成小委員会	田渕 寛 下田 <u>テック</u>	田渕 寛 下田 <u>エコテック</u>
表紙裏 スタンダード委員会	山崎和 <u>夫</u> 西原衛生工業所	山崎和 <u>生</u> 西原衛生工業所
P. 7 下から 12 行目	1 分間当たり雨水流入 <u>流量</u> が	1 分間当たり雨水流入 <u>水量</u> が
P. 8 表 8	流入流量 40 滞留時間 <u>35.0</u>	流入流量 40 滞留時間 <u>35.5</u>
P. 12 上から 15 行目	たい積層容量[L]×……÷流入 <u>流量</u> [L]	たい積層容量[L]×……÷流入 <u>水量</u> [L]
P. 16 上から 8 行目	阻集器は、維持管理……正しく <u>据え付け</u> 施工	阻集器は、維持管理……正しく <u>据付け</u> 施工
P. 20 解説図 1	標準水位面及び上昇 <u>水位</u>	標準水位面及び上昇 <u>水位面</u>
P. 22 左側上から 16 行目	以下” について、“2500 を <u>超え</u> ” に変更している。	以下” について、“2500 を <u>超える場合</u> ” に変更している。
P. 26 左側下から 10 行目	≒ <u>3</u> L	≒ <u>0.3</u> L
P. 27 左側上から 6 行目	4 槽× <u>50</u>	4 槽× <u>500</u>
P. 29 左側下から 1 行目	<u>mm</u> で	<u>min</u> で
P. 35 解説図 18 の図中	B 槽のトラップ右側オイル阻集層が <u>斜線</u>	B 槽のトラップ右側オイル阻集層が <u>クロスハッチング</u>
P. 35 右側下から 3 行目	= <u>1551.1</u> L ≥ 900L	= <u>1555.1</u> L ≥ 900L
P. 36 右側上から 19 行目の前	—	19 行目の「A. 5. 2. 1 試験条件」の前に以下の事項を追記する。 <u>A. 5. 1. 3 計算</u> <u>下記の阻集効率を用いて、土砂の阻集性能試験を実施した結果の記入例を解説表 9 に示す。</u> <u>【供試阻集器の提示事項】</u> <u>・性能クラス：I</u> <u>・実容量：1500L</u> <u>・オイル阻集層容量：5L</u> <u>・オイル及び土砂分離層容量：1400L</u> <u>・土砂たい積層容量：95L</u> <u>・流入流量：30L/min</u>
P. 38 右側下から 7 行目	<u>A. 5. 2. 4 性能試験表</u>	<u>A. 5. 2. 3 計算</u>
P. 38 右側下から 6 行目	下記の供試阻集器を用いて、 <u>オイル及び土砂</u> の阻集性能	下記の供試阻集器を用いて、 <u>オイル</u> の阻集性能
P. 38 右側下から 5 行目	試験を実施した結果の記入例を解説表 <u>9～10</u> に示す。	試験を実施した結果の記入例を解説表 <u>10</u> に示す。

オイル阻集器「SHASE-S 221-2012」正誤表

P. 39 右側上から 10 行目	・標準水位面から流入口までの寸法	・標準水位面より流入口高さまでの寸法
P. 40 左側上から 1 行目・2 行目	標準水位面から流入口までの寸法 <u>(最高上昇水位高さ)</u> が 350mm	標準水位面より流入口高さまでの寸法が 350mm
P. 42 左側上から 1 行目	C. 4 現場施工阻集器の <u>施行</u>	C. 4 現場施工阻集器の <u>施工</u>
P. 42 左側上から 13 行目	いる排水 <u>基準</u> の維持管理基準	いる排水 <u>設備</u> の維持管理基準
P. 42 左側下から 1 行目	備 <u>基準</u> ・同解説”，2000-3，pp. 250～254	備 <u>規</u> 準・同解説”，2000-3，pp. 250～254
P. 42 右側上から 2 行目	生設備 <u>基準</u> ・同解説”，2009-6，pp. 287～291	生設備 <u>規</u> 準・同解説”，2009-6，pp. 287～291